

# Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長：浜田一哉 編集責任者：野嶋 功 印刷所：東京印刷㈱

## 6月例会報告

平成16年6月17日(木)、米子市文化ホールにおいて広報委員会による今年度最後となる6月例会が開催された。

冒頭、浜田会長より1年間のお礼と30周年記念事業に向けての激励の言葉をいただいた。続いて、門脇直前会長より「合併協議会報告」が行われた。「米子市・淀江町合併協議会」の委員として現在の状況を米子市民と淀江町民の立場から具体的にわかりやすく説明され、『来る7月13日(火)に最終的な流れが決定するので新聞等興味を持って読んでいただきたい。』と話された。「市町村合併」は中央会が継続して取り組んできた事業でもあり、大変感心の高い内容であった。



臨時総会では、議長に立候補(中央会史上初?)された野嶋副会長の進行により「平成16年度特別会費」が諮られた。議案は異議なく速やかに承認・可決された。

そして、今年度の委員会活動の集大成を発表していただく「委員会報告」が行われた。今回は初の試みとして、プレゼンテーションソフトを使用しての発表となった。持ち時間の8分間を使って、各委員長が年度活動方針と実際の活動のズレに対して(謙虚に)年度回顧された。当初は不慣れから戸惑いの声もあったのだが、最終的にはほとんどの委員長より時間が足りないと充実した笑顔で言われたのが印象的であった。続いて、武海・遠藤・山本監事より年度講評があり、さまざまな角度から平成15年度を検証・総括していただいた。とても内容の充実した来年度につながる「委員会報告」であった。(詳しくは今月配布される「平成15年度委員会報告書」をご覧ください。)

次に、中本次年度会長より挨拶があり、次年度のスローガン「<sup>こ</sup>去・<sup>らい</sup>来・<sup>げん</sup>現 ~過去と未来を荷負い現在に行動する。~」、テーマ「<sup>こ</sup>個の自律から組織の自律へ ~共に進化しつづけるために~」を発表された。重点目標を掲げられ、力強く抱負を述べられた。引き続き、次年度各委員長より抱負が発表され、緊張した表情の中にも強い決意を感じることができた。



今回の例会は初の試みもあり、閉会時間の21時30分を過ぎましたが、スムーズな後片付けにご協力いただきありがとうございました。

(広報:福庭貴志)



Humane Do everything that is humanly possible

2014.7  
No.308

未来

# Handswime

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 一休誰太郎 編集責任者 平成15年度広報委員会 印刷所 東京印刷

## 2014年1月某日役員会

会長挨拶『本年は創立40周年の記念すべき年であります。実行委員長を中心として何かとご苦労をいただいております。全会員がひとつとなって記念事業を盛り上げようではありませんか。』このあと、当日の議案はスムーズに審議が終わり、監事講評を残すだけとなっていたその時、緊急動議が提案された。その内容は「会員増強ならびに全日本トライアスロン皆生大会のボランティア復活の件」であった。

### (1) 会員増強について

会員については100人を切ってから5年以上が経過し、本年度末には90人を切ることが危惧されている。ピーク時には180名余の大大所帯であったことをおもえば隔世の感がある。昭和60年7月の創立10周年記念式典で当時の内海敏会長は、『集まればパワー！』と力説された。一方、第6代会長の松田一三氏は『鳥合の衆となるな！』と警鐘を発せられた。いずれもその時々での自信と戒めの言葉として今に引き継がれている。

とはいえ、地域青年経済団体のリーダーとして今後とも活動を続けていくには100名以上の会員は是非とも欲しいものである。結論から言えば、本年6月までに各委員会が3名以上の新入会員を紹介することを全員が確認した。

### (2) 全日本トライアスロン皆生大会のボランティアについて

トライアスロンのボランティアを休止してから7年が経過した。休止といっても何もしていないわけではない。会員企業を通じて、あるいは個人資格でのボランティアは行っている。ただ、ボランティア部長およびマラソン部長を派遣していないだけである。当時の執行部が、「両部長には相当な負荷が掛かり、各企業の一線で働く会員には重荷」と判断したからである。それ以来、両部は中央会以外のメンバーで運営されているが、不都合なことは聞こえてこないで、敢えて中央会が復活することもないとの意見が大半であった。よって、当面これまで通りの関わりとすることに決定した。

(団体中央会米子支所：足立真治)



杜行会で応援団長を買って出た足立支所長

## 県青中懇親会「ウォークラリー in 米子」に参加して

5月23日(日)、爽やかな快晴のもと県青中懇親会「ウォークラリー in 米子」が開催された。折しもスタート地点の湊山公園ではレガッタ競技が行われており、応援するたくさんの若い女性の黄色い掛け声でなぜか私まで「歩け！歩け！歩け！」と本番モードに突入していった。

私のパーティは西部の宇野会員と東部の高橋監事、そして西根県出向理事の4名。

日差しは強いのだが、歩き始めると風が爽やかで気持ちが良かった。普段は車で通る道や酔っ払って歩いている道をテクテクと歩きながら東部会員の方と話をしたり、名所・旧跡では一緒に立ち止まって説明看板を読んだり、徐々に一体感が出てきたところで第1チェックポイントに到着した。「山陰線の開通は明治何年でしょう？」との問題。雰囲気のある加茂川の橋の上、そしてお地藏さん。その近くには古い説明看板があり、回答がさりげなく載っていた！素晴らしい演出だとも思った。県出向の皆さんが実際に歩き、足と目と鼻と肌で感じた情報であるからこそ、感動を呼ぶ内容になっていることがよく理解できた。

米川の土手は直線が続いて変化がないため退屈かとおもったものの、だんだんと大山が近づいて来るのが感じられる。東部の方は、「大山をこんなにまじまじと見るのは初めてだ」と感動しきりの様子。最後に私も初めて通る山陰線下のトンネルを通り抜け、約1時間40分の旅は終わった。終わってみると、非常に爽やかな充実感と達成感に体が支配されていた。

その後はホールサムインで入浴し、懇親会では旨いビールを呑みつつ、各地区会員の方々とのお話が弾んだ。東部の高橋氏は次年度の副会長とのことなので、東・中・西部の次年度副会長が一同に会する機会を設ける約束をして別れた。

最後に、非常に意味深く、充実したイベントを企画していただいた県役員の方々に心から感謝したい。

(総務：福田一哉)



## 原稿供養墓



今年1年間、紙面の都合で掲載がかなわなかった数名の執筆者の御言葉にお詫び申し上げるとともに感謝申し上げます。静かに眠りください。



# 6月度各委員会報告書

## 情報メディア委員会

平成16年6月4日(金) 於:デイルウンジ夢 出席者/8名  
内容/6月例会発表準備、打ち上げ打ち合わせ

30周年記念誌の協賛広告の依頼担当割りを行い、6月例会での委員会報告の準備も行った。あわせて研修旅行企画の打ち合わせを行った。

## 政治行政委員会

平成16年6月5~7日(土~月) 於:沖縄 出席者/12名  
内容/1年間の反省、研修

「地方の自立」を考えた時、異文化を巧みに取り入れ、独特の異国情緒をかもし出している沖縄に学ぶべく、研修旅行を実施した。沖縄は国内最大級の観光地であり、土産物を中心とした商店街にはどこも活気に溢れている。タクシーを取ってみても、どの運転手もガイドさながらの知識と心配りで我々を楽しませてくれる。まさに地域と住民が一体化して観光地「沖縄」としての自覚を持っているという紛れもない事実を目を見張るばかりであった。中にはそれを逆手にとって、詐欺まがいの商法で巧みに観光客をたぶらかす出店もあったが、ある意味これも象徴のひとつなのだろう。

沖縄は、観光というそれを取り巻く環境を地域住民ひとりひとりが理解・自覚し、また、民間一体となってこの特色を活かしきっている地ではなからうか。我々が鳥取県西部を考える時、将来必ずや心得ていくべきことであろうことをこの度の研修旅行で学んだ気がする。

## 国際交流委員会

平成16年6月3日(木) 於:海鮮ろばた海王 出席者/12名  
内容/1年間の反省、研修等

今年1年間の反省を行ない、各自が感想を述べた。また、6月12、13日には博多にて研修旅行を行った。

## 経営委員会

平成16年6月2日(水) 於:米子食品会館 出席者/12名  
内容/1年間のまとめ、打ち上げ打ち合わせ、30周年協賛広告

### ①30周年記念事業に関するOB会員訪問の件打ち合わせ

OB訪問(式典開催の案内と協賛広告のお願い)について委員長から主旨・目的等の説明を受けた。訪問する際のアポイントの取り方、協賛広告をお願いするにあたっての説明の仕方、また固辞された場合の対応等、失礼のないよう細心の注意を払って欲しいとの内容だった。

### ②委員会打ち上げ

諸般の事情から7月にズレ込んでしまった打ち上げについての日程・内容の最終確認を行った。

## 地域ビジョン委員会

平成16年6月8日(火) 於:海潮園 出席者/9名  
内容/1年間のまとめ、打ち上げ

### ①委員会の内容のまとめ

1年間を振り返って、委員会メンバーの意見をひとりひとり発表した。

### ②7月例会での委員会報告についての打ち合わせ

プロジェクターの操作補助は山本会員が行う。

### ③打ち上げ

伊藤副会長・清川・安福の3名の卒会者からお話を聞いた。残される私たちに熱い想いを語られ、胸がいっぱいになった。

## 広報委員会

平成16年6月3日(木) 於:大連 出席者/13名  
内容/ハンサム7月号の編集、担当例会打ち合わせ他

ハンサム7月号の記事案・担当者を決定したほか、6月担当例会の進行内容についてはリハーサル後に追加された事項を協議し、タイムスケジュールと担当割りの最終チェックを行った。

また、1年間「ハンサム」編集でお世話になった東京印刷の石中さんにゲストとして来ていただき、挨拶をいただいた。石中さんには二次会にも参加いただき、お互いに労をねぎらった。

打ち上げ旅行は6月26、27日に行う。

## 総務委員会

平成16年6月11日(金) 於:ホールサムインかいけ 出席者/14名  
内容/通常総会、卒会式打ち合わせ

通常総会・卒会式に関わるタイムスケジュール・人員・人選・企画内容等を確認した。また、7月2日には企画内容の打ち合わせおよびすり合わせを行う。

打ち上げ旅行は6月26、27日に行う。

## 30周年記念事業委員会

平成16年6月3日(月) 於:米子食品会館 出席者/6名  
内容/30周年事業進捗状況把握

今月の委員会も先月と同様に30周年実行委員会責任者会議を兼ねて行われた。

周年事業各部会の進捗状況について各部会リーダーより報告が行われた。

運営部からは式典の準備に関わる報告がなされた。ビッグシッブの会場下見を行ったこと、6月中旬に運営部内でのリハーサルの実施予定、映像を中継するカメラ音声の説明会を行うことなど詳細検討が報告された。また、全体でのリハーサルに向けての準備としてカメラリハーサルの実施や本会場での全体リハーサルのスケジュールが報告された。大枠で当日の必要人員計画が発表されたが、「式典に関わるスタッフ(会員)が多すぎて、問題があるのではないか」といった意見も聞かれた。

その他、制作部からはドキュメントビデオの進捗状況、広報部から記念講演のパンフ作成の件などが報告された。当委員会の報告もこれで最終となるが、記念式典が終わるまで、当委員会の役割は実行委員会として継続される。

## 平成16年度年間行動指針

### スローガン

こ らい げん  
去・来・現

～過去と未来を荷負い現在に行動する。～

### テーマ

個の自律から組織の自律へ

～共に進化しつづけるために～



### 重点目標

- ・個の自律を目指した人づくり
- ・目標ある行動の実践
- ・110人の求心力と団結力の強化
- ・地球人としての発想と行動
- ・会員拡大

# 伝心伝承

当コーナーでは会長、県会長経験者の方々に「中央海」という大海原での羅針盤たる助言・苦言をいただきます。最終回の今回は第28期会長門脇浩二直前会長です。



## 一 会長時の想いを教えてください。

会長に指名されたときは、「今まで育てていただいた中央会に恩返しを」という気持ちで受けた。とにかく前だけを見つめて、一生懸命突き進んだ。自分自身には力がないが、中央会がひとつになって力を出せば、他の青経連の団体には絶対に負けないという想いもあったし、またそれなりの活動もできたとおもう。様々なことがあり、1年が過ぎるのが早かった。

## 一 周年事業について教えてください。

現役会員がのびのびと自由に行って、派手なことはしなくても心に残る事業ができれば良いとおもう。若い会員にはこのプロセスを35周年、40周年に活かしてもらいたい。

## 一 今後の中央会について聞かせてください。

“英知・友愛・団結”を基に、年齢・仕事の関係を抜きにしてひとりひとりが平等で自由な活動をしてほしい。そうしないと外からなかなか入ってこれない。

今後は会員も減るとおもうが、会は決して数だけではない。会員が団結すればもっとパワーアップできるとおもう。

## 一 現役会員へのメッセージをお願いします。

とにかく出席しないことには前に進まない。会に出席し、遠慮なしにいろいろな人と交流し、失敗しても良いから積極的に活動してもらいたい。今後は会社であれ中央会であれ、大きさそのものよりも個性が重要視される時代だとおもう。それを逆手にとって前向きにがんばってほしい。

## 一 いよいよ卒会ですが・・・

今年度、「米子市・淀江町合併協議会」の委員をさせてもらった。これも中央会に在籍したからこそ回ってきた役目と認識している。そういう意味からも中央会にはたいへん感謝している。9月の合併を仕上げて、卒会とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

(広報：濱 徳正)

## 言わしてごしない 其の十式

20年に及ぶ中央会活動の幕引きを間近にしてさぞかし感慨深い日々が訪れるのかと期待していたが、想像とは裏腹に多忙な毎日の連続にセンチな気持ちなど欠片も感じられない。皆生地区の活性化を図るために皆生温泉地内にコミュニティスペースを作ったり、スポーツを切り口にした街作り活動をしたり、はたまたトライアスロンにライフセービングetc...

嫁さん曰く「ノーが言えないの？」(←「誰かがやらないといけないんだ!」)

周囲曰く「いつ仕事してるの？」(←「してますよ!みんなが見ていないところで。」)

一生懸命頑張っているはずなのに周囲の評価はおもったほど高くない。そして、中央会内部でも私がこうした活動を行っているのはあまり知られていないが、こうした活動を支えてくれたのは寂しくもなく中央会での人脈がベースになっている。会に対してどれほど貢献できたか自信はないが、ここで学んだことや得たものをベースにして地域には多少なりとも貢献できているのではないかと密かに自負している。

私たちは企業を代表して会に参加している。従ってここで学んだことを持ち帰って企業活動に利用することは重要だ。しかし、企業は地域社会と無縁ではない。企業にとって利益の追求は当然だが、それだけでは社会的な役割を果たすことはできない。

中央会内での仲良しクラブだけで終わることなく、会を通じて学んだことを基に積極的に地域参加していくことも非常に重要なことである。

最後になったが、本当に楽しく活動させてもらった。辛いおもしろいこともあった。ともに感涙を流したこともあった。すべてが素晴らしい思い出。今はただ感謝の気持ちでいっぱい。「青年」という言葉が肩書きから消えることになるが、チャレンジスピリットがある限り青春だとおもう。これからも走り続けていこうとおもう。

一生感動 一生燃焼 一生不悟

(広報：野嶋 功)

## 香糞は「シングル」である!

シングル?

ゴルフを知らない方には意味が分からないでしょう。決して独り身や離婚者の方を表現する言葉ではありません。私はゴルフが好きであり、今より10年位前までは仕事が終わると一目散にゴルフ練習場へと直行していました。

曲りなりにも「シングル」となり、その当時は良いスコアも出ていたものです。ところが、「練習はしない」「不規則・不節制の極に近い生活が続く」と現実はシビアなものです。ゴルフクラブにボールが当たらないのです。ボールが真っ直ぐに飛ばないのです。

「Yさん、OBではなかったようですがいくら探してもボールが見つかりませんね。」

「キャディさん、しょうがないですからティグランドへ帰っていただけませんか? 打ち直しますから。」この頃はこんなやりとりも珍しくなく、スコアも90前後と散々な結果が大方です。それでも、ゴルフは楽しいのです。そうなんです。私はスポーツが好きなのです。ゴルフが好きなのです。

日々、頭に負荷が重くのし掛かりストレスの多い会員諸君も、たまには屋外に出て緑を眼前にしながら汗をかきませんか? きっと、心も体もリフレッシュできますよ。

(山)

## 新旧役員会報告

新旧役員会が平成16年7月1日(木)、米子全日空ホテルにおいて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- (1) 通常総会、30周年記念事業の件
- (2) 8月例会開催の件
- (3) トライアスロンボランティアの件
- (4) その他

※なお、詳細については委員長までご参照ください。

## 平成16年度通常総会ならびに30周年記念事業案内

### 第一部〔通常総会〕

と き:平成16年7月14日(水) 12時50分～  
と ころ:米子市文化ホール

### 第二部〔卒会式〕

と き: 同 日 13時30分～  
と ころ:米子市文化ホール

### 第三部〔基調講演〕

と き: 同 日 14時00分会場、14時30分開演  
と ころ:米子市文化ホール

講 師:桂 文珍氏  
演 題:笑うにはチカラがいる

### 第四部〔記念式典〕

と き: 同 日 17時00分～  
と ころ:ビッグシップ大ホール

### 第五部〔記念パーティー〕

と き: 同 日 19時30分～  
と ころ:ビッグシップ大ホール

## 新社屋落成 大塚浩史会員

所属企業:大塚商店

住 所:〒683-3541 米子市二本木535-1

(旧番地から変更)

電 話:0859-39-3055 (旧番号から変更)

F A X:0859-39-3039 (旧番号から変更)

新社屋が落成し、近日中に営業を開始されます。ますますの御発展をお祈りします。